

# 戸隠山塊 乙妻山北壁 登攀計画書

信州大学上田山岳部・OB会

1. 時： 1967. 10. 21 - 23

2. 目的： 乙妻山北壁の試登

3. パーティ氏名

上田 森田 稲吉郎 Z7才 信大OB

増生 高橋 孝雄 元  
更 増市 櫻堂 原田 英雄 元

上田 杉本 敏彦 Z2才 上田山岳部

織造 学部 3年  
上田 市常 入修 子 寮内

4. 行動概要

10月21日 長野発 時 命 (ハードライン)

中社 → 牧場 → 一不動 (ヒバーク)

10月22日 乙妻山北壁試登

一不動 → 高妻 → 池 (テボ) → 北壁  
→ 池 (乙妻の池にてヒバーク)

10月23日

池発 (7.30) → 一不動 → 中社 → 長野

5. 装備

(共同) (登ハン用具)

ザイル 40m 11mm  
9mm

シュリング 4

ハーケン 30

ホルト 4

カラビナ 30

アブミ 3段 6 食器武器 2

ハヌー 2 ツリソケ 1

ジャンベック 2 X タ (小) 1

(炊事用具) (その他) 1

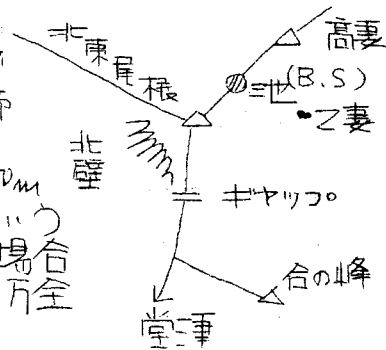
ホエーガス (小) 1 トランジスター 1

(露營用具)		(個人) --- 主なもの	
リエルト	1	シフト	ゼムスト
シート	1	セーター	小型ザック
ビニール	1	ヤッケ	タオル
ローソク(大)	2	手袋	洗面具
細引	1	雨具	水筒
(その他)		ヘルメット	登山靴
トランジスター	1		服装一式
天気図用紙	2		
プリズム	1		
カメラ	2		
フィルム 白黒	1		
赤布	5		
			地図
			身分証明書
			スハカリ

### 6. 乙妻北壁について

過去に左リツナが登らぬE(ELマ)のみにて、正面は未登である。戸隠ではまがらしく、半環成岩(?)で硬く、節理も発達している立派な壁である。推測では傾斜は80度、高さは80~100mと思われる。今回は、一応は試登という事で取付くが、ツリシユが多く、場合によっては、宗登の望みもあるので万全の準備をしていく。

取付は乙妻より200~300m、白樺の取付点より下降し、キヤッコより、300mトラバヌしE地帯である。



# 戸隠山塊 乙妻山北壁 登攀計画書

信州大学上田山岳部・OB会

1. 時： 1967. 10. 21 - 23

2. 目的： 乙妻山北壁の試登

3. パーティ氏名

上 森田 裕吉 郎 Z7才 信大OB

増生 高枝 孝 治 命  
更増 市楼 堂 原 田 英 雄 才

杉本 敏 彦 Z2才 上田山岳部

織 津 学 部 3 年  
上 田 市 常 入 修 己 康 丸

## 4. 行動概要

10月21日 長野発 1 時 命 (バードライン)

中社 → 牧 場 → 一不動 (ヒバーク)

10月22日 乙妻山北壁 試登

一不動 → 高妻 → 池 (テホ) → 北壁  
→ 池 (乙妻の池にてヒバーク)

10月23日

池発 (7.30) → 一不動 → 中社 → 長野

## 5. 装備

(共同) (登ハン用具)

3m.	✓ ガイヒ 40m	11mm 9mm Δ	1	アジミ 3段 <sup>03</sup>	✓ 食器武器	201
	✓ シュリンゲ		4	ハヌー <sup>012</sup>	✓ ツリソケ	1 Δ
	✓ ハーケン	Δ	30	シヤヒツ <sup>02</sup>	✓ X 夕 (小)	1 0
	✓ ホルト	0	4	(炊事用具)	✓ コンロール (小)	1 Δ
	✓ テラビナ	0	30	✓ ホエーアス <sup>01</sup>	(その他)	
			26 枚		✓ ランタナー	1 0



- (露營用具)
- ✓ リエルト 10
  - ✓ シート 10
  - ✓ ビニール 10
  - ローソク(大) 20
  - ✓ 細引 10
- (その他)
- ~~トランジスタ~~ 1
  - ✓ 天気図用紙 20
  - ✓ フリズム 1
  - ✓ カ×ウ 20
  - ✓ フイルム 白黒 10
  - 写 14
  - ✓ ナフ 10
  - ✓ 赤布 54

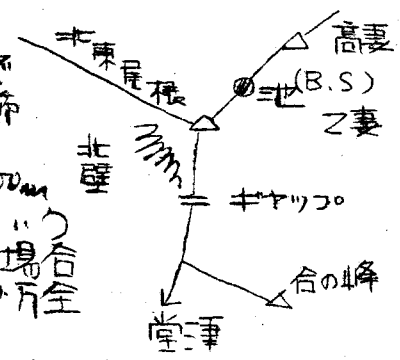
- 【個人】---主なもの
- シフト | セルジスト
  - センター | 小型ザック
  - ヤッケ | タオル
  - 手袋 | 洗面具
  - 雨具 | 水筒
  - ヘルメット | 登山靴
  - シフト | 服装一式

地図 ①  
身元証明書  
スバウリ

6. 2妻北壁について

過去に左リツケが登らぬE(エマ)のみにて、正面は未登である。戸隠ではまがらしく、半環成岩(?)で硬く、節理も発達している立派な壁である。推測では傾斜は80度、高さは80m~100mと思われる。今回は、一応は証登といふことで取付くが、ツリシユが多く、場合によっては、宗登の望みもあるのでは万全の準備をしていく。

取付は2妻より200~300m、白樺の稜付近に下降し、キヤツフより、300mトラバヌして地帯である。



190 x 2.  
160 x 2.